



6月に発生した大阪北部地震を踏まえ、各地域の防災訓練等でいつもご説明していることを、あらためて申し上げたいと思います。

まず、地震には直下型地震と海溝型地震がありますが、1分以上の長い揺れが続くと津波が来る海溝型地震です。落ち着いて3階以上の丈夫な建物に避難し、津波は繰り返しやってくるので避難した場所で6時間以上、津波警報が解除されるまで待機してください。1分以上、3階以上、6時間以上の「1・3・6で避難」と覚えておいてください。

南海トラフ巨大地震で想定される港区の震度は6弱、地震発生から津波の第1波が港区に到達するまで114分です。津波の高さは最大3.9m（尻無川水門付近）、ただし満潮の時には水面が2.2m上昇するので、満潮時の最大は3.9m+2.2m=6.1mとなります。

また、避難する建物もあらかじめ決めておき、避難ルートも、ブロック塀や自動販売機、高所に取り付けられたエアコンの室外機等を避けた危険の少ないルートを確認しておくようにしましょう。顔の見えるご近所で助け合う「近助（きんじょ）」ができるよう、日頃のお付き合いを大切にして、災害に備えましょう。

港区長 筋原章博